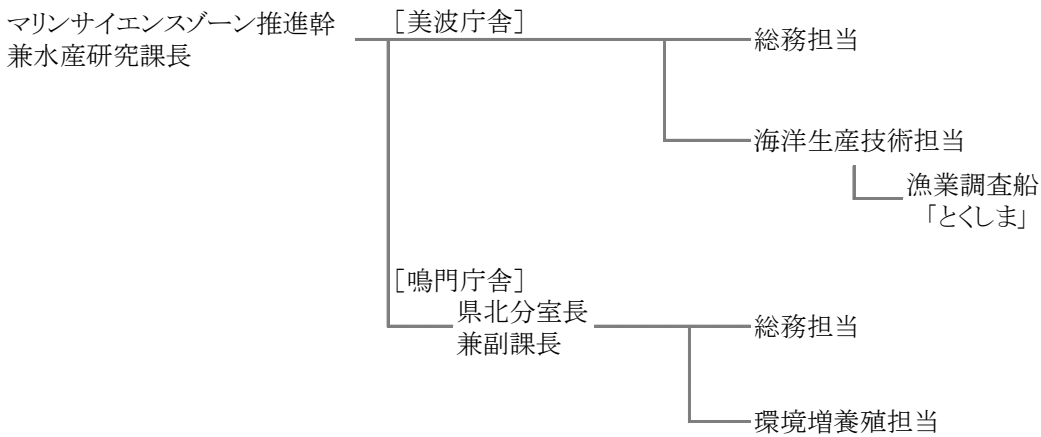


## 1. 水産研究課の構成



## 2. 職員の配置

平成30年4月1日現在

	一般職員			非常勤特別職			合計
	兼務	再任用	計	水産指導員	試験研究 補助員	地方創生 推進員	
マリンサイエンスゾーン推進幹 兼水産研究課長	1		1				1
県北分室長兼副課長	1		1				1
総務担当	2		2				2
環境増養殖担当	5		5	1	1		7
海洋生産技術担当	11	3	2	16	2	1	19
計	20	3	2	25	1	3	30

### 3. 一般職員の職・氏名一覧表

担当	職名	氏名	担当	職名	氏名
	マリンサイエンスゾーン推進幹 兼水産研究課長	上田幸男		専門研究員	中西達也
	県北分室長兼副課長	和泉安洋		主査兼機関長	今治美久
総務	主査兼係長	環 由香		主査兼船長	三好亮徳
	係長	河野 薫		研究係長	谷本 剛
環境増養殖	上席研究員	池脇義弘	海洋生産技術	研究係長	棚田教生
	専門研究員	加藤慎治		研究主任	湯浅明彦
	主任	平野 匠		研究主任	廣澤 晃
	主任研究員	多田篤司		主任	悦田 明
	研究員	吉田和貴		主任	松本一樹
			主任	藤岡保史	
			主任	渋江 文	
			主任	石川陽子	
			研究員	吉岡拓也	

平成30年4月1日

### 4. 平成30年度の人事異動

	職名	氏名	発令月日	新所属(担当)	旧所属(担当)
	上席研究員	牧野賢治	H30.4.1	南部総合県民局農林水産部	(環境増養殖)
転出	主査兼係長	濱田朝子	H30.4.1	発達障がい者総合支援センター	(総務)
	主査兼機関長	須原 修	H30.4.1	漁業調整課	(海洋生産技術)
	研究係長	住友寿明	H30.4.1	安全衛生課	(環境増養殖)
	主査兼係長	環 由香	H30.4.1	(総務)	労働委員会
	専門研究員	加藤慎治	H30.4.1	(環境増養殖)	水産振興課
転入	主査兼機関長	今治美久	H30.4.1	(海洋生産技術)	水産振興課漁業調整室
	研究係長	廣澤 晃	H30.4.1	(海洋生産技術)	再任用
	研究員	吉田 和貴	H30.4.1	(環境増養殖)	新規採用

## 5. 予算の執行状況

(1) 歳入		(単位：千円)
款 項 目	金 額	備 考
財 産 収 入	119	
財産売却収入	119	
生産物売却収入	119	
諸 収 入	903	
雑 入	903	
雑 入	903	
計	1,022	

(2) 歳出		(単位：千円)
款 項 目	金 額	備 考
給 与 費	176,881	
計	176,881	
総 務 費	2,386	
企 画 費	2,386	
計画調査費	2,386	
計	2,386	
衛 生 費	1,322	
環境衛生費	1,322	
公害対策費	1,322	
計	1,322	
農林水産業費	85,571	
農 業 費	8,587	
農業総務費	8,587	
畜 産 業 費	74	
畜産研究費	74	
農地費	975	
土地改良費	975	
水 産 業 費	75,935	
水産業振興費	5,406	
水産研究費	67,592	
漁港建設費	2,937	
計	85,571	
合 計	266,160	

## 1. 漁業関係者，学生等を対象とした主な講習会，研修会及び報告会

年月日	場 所	対 象	人数	表題	担当
平成30年4月10日	美波庁舎	漁協職員	3	モジヤコ協議会	海洋生産技術
平成30年4月14日	北灘漁協	北灘漁協漁業者	31	水研ワカメ種苗評価	環境増養殖
平成30年4月27日	鳴門庁舎	漁業者	2	ワカメ遊走子採苗方法の実演指導	環境増養殖
平成30年5月1日	美波庁舎	漁業アカデミー生徒	6	漁業アカデミー講義	海洋生産技術
平成30年5月11日	鳴門庁舎	漁業者	2	ワカメ雌雄配偶体の単離	環境増養殖
平成30年5月11日	美波町役場由岐支所	美波の海の恵み研究会	15	成果報告、事業計画	海洋生産技術
平成30年7月6日	北灘漁協	ハマチ養殖業者他	7	赤潮研修会	環境増養殖
平成30年8月25日	県水産会館	漁業者ほか	71	第3回マリンサイエンスシンポジウム	海洋生産技術
平成30年8月27日	6次産業化研究室	漁業アカデミー生徒	5	科学技術高校の講義	海洋生産技術
平成30年9月11日	北灘漁協	北灘漁協職員・ワカメ生産者	10	ワカメの種苗配布と室内生産方法	環境増養殖
平成30年9月19日	鳴門庁舎	漁業アカデミー研修生	6	藻類養殖に関する知識と技術について	環境増養殖
平成30年10月12日	美波町役場由岐支所	美波の海の恵み研究会	15	今年度のワカメ養殖事業について	海洋生産技術
平成30年10月26日	木岐漁協	木岐漁協組合長、職員、漁業者	12	木岐の磯を考える会(浜プラン関係)	海洋生産技術
平成30年12月12日	白水園	アユ養殖組合役員	7	水産用抗菌剤の取り扱いについて	海洋生産技術
平成30年12月21日	サテライト研究室	漁業アカデミー生徒ほか	13	漁業士養成講座	海洋生産技術
平成31年1月25日	美波町由岐支所	美波の海の恵み研究会	15	ワカメ養殖関係	海洋生産技術
平成31年2月15日	美波町由岐支所	由岐3漁協漁業者	6	イセエビ禁漁区設置に係る協議	海洋生産技術
合計			226		

## 2. 一般県民を対象とした体験学習及び展示等

年月日	場 所	対 象	人数	表題	担当
平成30年5月9日	6次産業化研究室	科学技術高校生徒、教諭	13	レトルト食品作成	海洋生産技術
平成30年5月16日	6次産業化研究室	科学技術高校生徒、教諭	13	レトルト食品作成	海洋生産技術
平成30年5月19日	小松島・横須海岸	ボランティア，水産振興課ほか	70	海岸クリーンアップ活動とヒラメ放流	環境増養殖
平成30年8月27日	6次産業化研究室	科学技術高校生徒、教諭	6	レトルト作業	海洋生産技術
平成30年9月7日	県漁連	近畿大学教授，学生他	14	県漁連見学会	環境増養殖
平成30年10月16日	6次産業化研究室	科学技術高校生徒、教諭	4	レトルト作業	海洋生産技術
平成31年1月23日	美波庁舎	シルバー大生	30	所内見学ほか	海洋生産技術
合計			150		

### 3. 水産研究課の報道実績

報道日	報道機関	見出し及び内容	担当
平成30年4月4日	徳島新聞	美波・牟岐沖で赤潮／魚死ぬ被害海水温上昇影響か	環境増養殖
平成30年4月5日	徳島新聞	県内沿岸貝毒検出相次ぐ／3年ぶり広域出荷規制	環境増養殖
平成30年4月8日	徳島新聞	二枚貝や赤潮注意を／徳島市漁業関係者ら連絡会議	環境増養殖
平成30年5月25日	徳島新聞	幻の巨大魚アカメ釣り上げた	
平成30年5月29日	徳島新聞	種苗に高水温耐性／15年度開発鳴門わかめ新品種	環境増養殖
平成30年6月14日	読売新聞(夕刊)	気候変動に種々の適応策／高水温でも育ちやすいワカメ新品種	環境増養殖
平成30年6月28日	徳島新聞	海水の状態即座に確認／県HPに水質情報	環境増養殖
平成30年6月29日	徳島新聞	県産ハモ取扱量大幅減	海洋生産技術
平成30年8月11日	徳島新聞	シラス記録的不良	海洋生産技術
平成30年11月6日	徳島新聞	巨大ニシキエビ牟岐沖で水揚げ	海洋生産技術
平成30年12月16日	徳島新聞	マイワシ水揚げ激減	海洋生産技術
平成31年3月20日	徳島新聞	鳴門・海部の水産業研究開発事業／徳島文理大・四国大参画	
平成31年3月21日	徳島新聞	養殖スジアオリ不漁	環境増養殖

## 5. 研究業績

### 論文発表

- 1)西岡 智哉, 池脇 義弘, 秋山 諭, 山本 圭吾, 田中 咲絵, 宮原 一隆, 原田 和弘, 山下 泰司, 濱崎 正明, 長谷川 尋士, 本田 恵二(2018)2016年夏季の瀬戸内海東部海域における*Chattonella ovata* の広域的な発生. 日本プランクトン学会誌, 65, 917-922.
- 2)Shigeru Kawamata, Manabu Kobayashi, Norio Tanada(2018)Empirical model for probabilistic rock stability on flat beds under waves with or without currents.Coastal Engineering , 140. 257-271
- 3)Goro YOSHIDA, Hiromori SHIMABUKURO, Setuo KIYOMOTO, Tatsuru KADOTA, Taku YOSHIMURA, Noboru MURASE, Mikio NODA, Shoichi TAKENAKA, Yoshimi KONO, Toshiharu TAMURA, Norio TANADA, Xiaojie YU, Naoki YOSHIE and Xinyu GUO (2019)Assessment and future prediction of climate change impacts on the macroalgal bed ecosystem and cultivation in the Seto Inland Sea.水産研究・教育機構研究報告, 49.27-34
- 4)川龍祥子, 上田幸男, 足立亨介, 森岡克司(2019)短期的畜養によるクマエビ(*Penaeus semisulcatus*)のアスタキサンチン量の制御.水産増殖, 67.1-8

### 学会発表

- 1)岡直宏, 佐藤陽一, 中西達也, 山室達也, 斉藤稔, 團昭紀, 浜野龍夫(2018)紅藻*Agardhiella subulata*組織片の新芽形成に対する光波長の影響.日本応用藻類学会 第17回大会, 62
- 2)池脇義弘, 吉田和貴, 加藤慎治, 多田篤司, 宮原一隆, 秋山諭, 上田真由美, 鬼塚剛, 坂本節子, 紫加田知幸(2018)2018年春季に徳島県沿岸で発生した*Alexandrium tamarense*の出現特性と二枚貝毒化状況について.日本水産学会秋季大会, 44
- 3)松岡優奈, 小泉次郎, 三上浩司, 遠藤光, 多田篤司, 棚田教生, 宮下和夫, 細川雅史(2018)褐藻の色落ち誘導とフコキサンチン含量に関する研究.日本水産学会秋季大会
- 4)山本昌幸・元谷剛・棚田教生・小林靖尚・片山知史(2018)瀬戸内海播磨灘域におけるアイゴの移動と成長, 産卵.水産海洋学会研究発表大会
- 5)多田篤司, 棚田教生, 村瀬昇, 吉田吾郎(2019)ワカメのフリー配偶体による屋内種苗生産法の現場導入.日本藻類学会第43回大会, 42
- 6)村瀬昇, 棚田教生, 多田篤司, 中村孝志, 野田幹雄, 阿部真比古, 島袋寛盛, 吉田吾郎(2019)徳島県産ワカメ交雑種苗の培養による生育の適温と上限温度.日本藻類学会第43回大会, 57